BIOS マニュアル

BIOS セットアップユーティリティとは

BIOS セットアップユーティリティとは、BIOS の設定を確認・変更するためのツールです。
セットアップユーティリティは、本体に内蔵されているマザーボード上のフラッシュメモリーに格納されています。

このユーティリティで定義される設定情報は、CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域に格納されます。
この設定情報は、マザーボードに搭載されているバックアップ電池により保存され、システムの電源を
OFF したり、リセットしても消えることはありません。

ONKYO 製パーソナルコンピューターシステム（以下、「システム」と記述）は、出荷時の BIOS 設定で最適動作するように設計されています。お客様自身によって BIOS 設定の変更を行う場合は、あとで現在の設定を参照できるよう、メモなどに記録しておくことを強くお勧めいたします。

システムに接続されている個々のハードウェア構成（外部接続端子への接続を含む）や、
お客様の使用環境によっては本書の表示との差違が生じる場合があります。

BIOS とは

BIOS とは、システムのハードウェアを利用したり、制御するための基本プログラムの一つです。
（BASIC In/Out SYSTEM： ハードウェアと OS の橋渡し的な機能を司る）

搭載されている CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオシステム、チップセットなどの基本動作に関する設定情報を CMOS RAM 領域に保存し、システムが起動するときに前回設定値との内容を比較することで、本体に変化や異常がないかの自己診断を行います。

BIOS が使用する各種設定情報を変更するためのプログラムが、BIOS セットアップユーティリティです。

--- 注意事項 ---

BIOS 設定を間違えますと、システムの深刻なトラブルにつながることがあります。
設定変更される際は充分に御注意いただくとともに、このマニュアルに
記載されている内容をご理解いただけない場合は変更を行わないことを
強くお勧めいたします。

BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合、ならびに、
お客様によって設定されたパスワードの忘失に起因する動作不良につきましては、
保証期間中であっても弊社サービスセンターでの**有償修理**となりますことを
ご了承ください。

基本操作

- **BIOS セットアップユーティリティを起動する**

1. システムの電源を入れます。
2. ONKYO ロゴ画面が表示されたら、［ DEL ］ または ［ F2 ］ キーを押します。
3. **BIOS セットアップユーティリティ**が起動します。（下図参照）

- **BIOS セットアップユーティリティを操作する**

Aptio Setup Utility - Copyright © 2011 American Megatrends, Inc.

Main **Advanced** **Boot** **Security** **Save & Exit**

BIOS Information	
BIOS Vendor	American Megatrends
Core Version	X.X.X.X
Compliancy	XXXX X.X
Project Version	XXX XXX XXXX
KBC Version	XX.X.X.X.XX
Build Date and Time	xx/xx/xxxx xx:xx:xx
Systen Date	[Xxx xx/xx/xxxx]
System Time	[xx:xx:xx]
Access Level	Administartor

Set the Date. Use TAB to switch between Date elements.

→←　Select Screen
↑↓/Click:　Select Item
Enter/Dbl Click:　Select
+/- :　Change Opt.
F1 :　General Help
F2 :　Previous Values
F3 :　Optimized Defaults
F4 :　Save & Exit
ESC/Right Click:　Exit

Version x.xx.xxxx. Copyright © 2011, American Megatrends, Inc.

［ 参考画像：トップメニュー ］

↑ / ↓	アイテムを選択します。
← / →	メニューを選択します。
ー/+	−/+キーで値を操作します。
F1	ヘルプを表示します（英語）。
F3	工場出荷状態の設定を呼び出します。
F4	設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。
ESC	操作中のメニューを終了する または Exit に移動します。
Enter	選択 もしくは サブメニューを表示します。

● **設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了する**

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Save & Exit” タブを選択します。
3. “**Save Changes and Reboot**” を選択し、Enter キーを押します。
4. “Save configuration and Reset?” と表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
5. BIOS セットアップユーティリティが終了し、再起動します。

※ 2～3 までの作業を、メニューのあらゆる階層から [F4] で行うことも可能です。

● **BIOS 設定を初期化する（工場出荷状態）**

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Save & Exit” タブを選択します。
3. “**Load Optimized Defaults**” を選択し、Enter キーを押します。
4. “Load Optimized Defaults?” が表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
5. “**Save Changes and Reboot**” を選択し、Enter キーを押します。
6. “Save configuration and Reboot?” が表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
7. BIOS セットアップユーティリティが終了し、再起動します。

※ 2～3 までの作業を、メニューのあらゆる階層から [F3] で行うことも可能です。
※ [F3] → [Yes] → [F4] → [Yes] でも BIOS 設定初期化ができます。

● **変更した設定を破棄し、変更前の状態で保存する （設定保存前）**

1. “Save & Exit” タブを選択します。
2. “**Discard changes and Reboot**” を選択し、Enter キーを押します。
3. “Reset without saving?” が表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
4. BIOS セットアップユーティリティが終了し、再起動します。

※ 2～3 までの作業を、メニューのあらゆる階層から [ESC] で行うことも可能です。

高度な操作

以下の操作については、システムに深刻なダメージを与えることがあります。
内容を変更する際はご注意いただくとともに、下記内容をご理解いただけない場合は
変更を行わないことを、強くお勧めいたします。
BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合及び、
設定済みのパスワードを忘失したために起動できなくなった場合は保証対象外
となりますので、弊社サービスセンターでの有償修理となります。

◎ PXE 起動オプション ROM を設定する

“Advanced”タブ →“**Launch PXE OpROM**”メニュー → *[値の変更]*
有効にすると、PXE 経由でシステムを起動できます。

◎ マスストレージのオプション ROM を設定する

“Advanced”タブ →“**Launch Storage OpROM**”メニュー → *[値の変更]*
Storage OpROM の有効、無効を設定します。

◎ SerialATA デバイスの動作モードを設定する

“Advanced”タブ →“**SATA Mode Selection**”メニュー → [IDE] / [AHCI] / [RAID]
デフォルト状態から変更すると、プリインストールされた Windows OS を起動できなくなります。
BIOS 設定の初期状態に従って、変更せずにお使いください。

◎ Intel® Rapid Start Technology の動作モードを設定する

“Advanced”タブ →“**Intel® Rapid Start Technology**”メニュー → *[サブメニュー]*
「休止状態からの復帰を高速化する技術」(iRST) についての設定を行います。
(iRST 非対応モデルではこの項目が設定できません)

[サブメニュー] “Intel® Rapid Start Technology”メニュー → *[値の変更]*
iRST 機能を有効、無効化します。

[サブメニュー] “Entry on S3 RTC Wake”メニュー → *[値の変更]*
有効にすると、システムをサスペンドさせたときに iRST を起動します。

[サブメニュー] “Entry After”メニュー → *[値の変更]*
iRST が起動するまでの待機時間を設定します。

[サブメニュー] “Entry on S3 Critical Battery Wake”メニュー → *[値の変更]*
有効にすると、ローバッテリー状態となる前に iRST を起動します。

[サブメニュー] “Critical Battery Wake threshold”メニュー → *[値の変更]*
iRST が起動するバッテリー残量閾値を設定します。

◎ Intel® Anti-Theft Technology Configuration を設定する

“Advanced” タブ → **“Intel® Anti-Theft Technology Configuration”** メニュー → *[サブメニュー]*

「アンチセフト・テクノロジー」(iAT) についての設定を行います。

[サブメニュー] “Intel® Anti-Theft Technology” メニュー → *[値の変更]*

iAT 機能を有効、無効化します。

[サブメニュー] “Intel® Anti-Theft Technology REC” メニュー → *[1～64]*

ログイン試行の許容回数を設定します。

◎ USB の動作モードを設定する

“Advanced” タブ → **“USB Configuration”**メニュー → *[拡張メニュー]*

レガシィ USB の設定や通信パラメータの設定ができます。

◎ BIOS パスワードを設定・解除する

システムの起動、および BIOS 設定の変更を、パスワードにより制限を行います。

○ 管理者(Administrator)パスワードの設定方法

“Security” タブ → **“Administrator Password”**メニュー → Enter キーを押してください。

[Create New Password]

にて設定したいパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

[Confirm New Password]

にてもう一度同じパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

※ 既にパスワードが設定されているときは [Enter Current Password] が表示されます。

○ 管理者(Administrator パスワードの解除方法

“Security” タブ → **“Administrator Password”**メニュー → Enter キーを押してください。

[Enter Current Password]

にて設定済みのパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

[Create New Password] / [Confirm New Password]

には何も入力せず、Enter キーを押してください。

※ “Administrator Password” が [Not Installed] になっていれば解除完了です。

※ パスワード設定操作手順は、User Password についても同様です。

パスワードの忘失について

パスワードを忘失すると、システムの起動ができなくなります。

User Password を忘れた場合は、Administrator Password で BIOS セットアップユーティリティを起動して、User Password を再設定してください。

Administrator Password を忘れた場合は、修理(有償)が必要となります。
無償修理期間であっても有償となりますので、ご注意ください。